



学校評価の結果について

本校では、学校運営や教育活動に関して、目指すべき目標に対する達成状況をチェックし、その改善を図るために学校評価を実施しています。また、結果を公表し、保護者や地域の皆様から理解と賛画を得て、連携して学校づくりを進めていきたいと考えています。

今年度は11月に教職員は自己評価として、生徒と保護者の皆様にはアンケートという形で学校評価を実施しました。学校評価アンケートは、「教育活動に関するもの」と「生徒の実態に関するもの」に分かれています。それぞれの項目を4から1までの4段階で評価し、平均値を載せてあります。

学校評価アンケートの集計結果

基準 4…良くできている 3…おおむねできている 2…あまりできていない 1…ほとんどできていない

	教育活動に関するもの	教師の評価		生徒の評価		保護者評価	
		R5	R4	R5	R4	R5	R4
めざす 学校像 1	1 授業の内外で学習規律を身に付けさせる指導体制をとっている。	3.2	3.2	3.6	3.6	3.0	3.1
	2 道徳や学級指導で、生命を尊重し人を思いやる心を育成している。	3.1	3.2	3.6	3.6	3.0	3.1
	3 授業や行事で、感動する経験をさせている。	▼2.9	3.4	3.2	3.2	3.0	3.2
	4 生徒の主体性を育てる行事運営により、生徒に達成感を味わわせている。	▼3.2	3.5	3.4	3.4	3.2	3.2
	5 自分の健康・安全に関心をもたせ、良い生活習慣を身に付けさせている。	▼3.0	3.3	3.4	3.5	3.0	3.1
めざす 学校像 2	1 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る指導をしている。	3.4	3.4	3.6	3.6	3.1	3.1
	2 思考力・判断力・表現力を育成する指導をしている。	3.2	3.2	3.6	3.6	2.9	3.0
	3 個への支援を取り入れた授業や補充学習の体制をとっている。	3.1	2.9	3.3	3.2	2.7	2.6
	4 家庭学習の習慣を身に付けさせる具体的な指導をしている。	3.2	3.4	3.3	3.2	2.6	2.7
	5 教育課程を編成し、休校期間中の学習や行事を保障するよう努めている。	3.3	3.3	3.7	3.7	3.1	3.2
3	1 生徒指導の方針や学習指導・評価について、生徒・保護者に十分説明している。	3.2	3.3	3.7	3.7	2.7	2.9
	2 学校だより・HP・学年だよりを充実させ、積極的に発信している。	3.4	3.3	3.8	3.8	3.0	3.0
教師像 1	1 あいさつや声かけなど、積極的に生徒とコミュニケーションを図っている。	3.6	3.5	3.6	3.6	3.2	3.2
	2 一人一人のよさを見だし、認め、伸ばす生徒理解をしている。	3.2	3.2	3.3	3.4	2.9	3.1
	3 一人一人が居場所のある学級づくりをし、自己肯定感をもたせている。	3.2	3.1	3.2	3.2	2.9	3.1
	4 いじめ、不登校、問題行動などの早期発見と迅速な対応をしている。	3.4	3.4	3.3	3.3	2.9	3.0
	5 生徒との触れ合いを大切にし、教育相談の充実を図っている。	3.4	3.3	3.3	3.2	2.9	3.0
教師像 2	1 やりがいをもって、自分の分掌に取り組んでいる。	3.0	3.1	*	*	*	*
	2 目の前の課題に対して、積極的に解決に向けて取り組んでいる。	3.2	3.2	*	*	*	*
	3 教師間・学年間で積極的にコミュニケーションをとり協力体制を作っている。	3.3	3.3	*	*	*	*
	4 常に教材研究や指導法の勉強をし、指導力を向上させている。	3.2	3.3	*	*	*	*
	5 市教研や教育センターの専門研修に積極的に参加し、指導に生かしている。	3.2	3.2	*	*	*	*
	6 校内研修や学年会などで、知恵を出し合い、お互いを高め合っている。	3.2	3.1	*	*	*	*
	7 教科等横断的な視点や指導計画（年間・単元・毎週の授業）を見直すなどして、学習や行事を保障するように努めている。	2.9	3.1	*	*	*	*
教師像 3	1 生徒に寄り添い、話をよく聞き、生徒を大切に生徒指導をしている。	3.4	3.2	3.4	3.3	3.0	3.1
	2 「だめなものはだめ」「良いことは認める」ぶれない生徒指導をしている。	3.4	3.3	3.5	3.5	2.9	3.1
	3 保護者と連携を十分にとり、丁寧な対応をしている。	3.3	3.2	*	*	2.9	3.0

		生徒の実態に関するもの		教師の評価		生徒の評価		保護者評価	
		R5	R4	R5	R4	R5	R4		
生徒像1	1	目標をもち前向きに学校生活を送っている。	3.0	3.1	3.3	3.3	2.9	3.1	
	2	相手の立場や気持ちを思いやり生活している。	3.1	3.0	3.5	3.5	3.1	3.2	
	3	授業や行事で意見や助言をしあうなど、相互に高め合っている。	3.2	3.2	3.3	3.3	3.0	3.1	
	4	ボランティア活動に進んで参加している。	2.8	3.0	2.7	2.7	2.5	2.5	
生徒像2	1	自分の心や体を大切に考えて生活している。	3.1	3.0	3.4	3.4	2.9	3.0	
	2	大きな声であいさつをしている。	2.5	2.7	3.1	3.1	2.7	2.8	
	3	そうじに一生懸命取り組んでいる。	2.8	2.9	3.5	3.5	3.0	3.1	
	4	命あるものを尊重し、身の回りのものを大切にしている。	▼2.7	3.0	3.6	3.5	3.0	3.0	
	5	学校のルールを理解し、正しい判断で行動している。	▼2.8	3.1	3.5	3.5	3.1	3.2	
	6	落ち着いて授業や学校生活に取り組んでいる。	3.1	3.2	3.5	3.5	3.1	3.2	
	7	係活動などに責任をもって取り組んでいる。	3.3	3.3	3.7	3.6	3.3	3.4	
3	1	部活動に積極的に参加し、体力や技術を向上させている。	3.1	3.2	3.5	3.5	3.2	3.3	
	2	様々なことに対応できる余裕のある広い心をもっている(キレない折れない)。	▼2.7	3.0	3.4	3.3	3.0	3.0	

※ 印*は、調査していない項目

※ △：0.3ポイント以上の上昇 ▼：0.3ポイント以上の降下

アンケート結果の分析と本校の課題

令和5年度の学校評価アンケートは、教師と生徒はギガタブ、保護者は携帯連絡メール「すぐーる」を使って回答しました。回答できない項目については無回答を認めました。アンケートに参加した人数の割合は、教師 90.0%、生徒 90.0%、保護者 64.5%でした。昨年度との回答率の比較は、教師、生徒はほぼ同率、保護者は4.5%上昇しました。

学習指導においては、現在も落ち着いて学習に取り組めておりますが、今後も気を抜かずに学習規律を定着させ、基礎的な知識や技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成に努めます。特に探究的な学習や体験活動などの機会を増やし、生徒が学び合い、学んだことを伝え合うことを通して、より深く思考し、豊かな表現力が身に付くように継続的に指導していきます。また、ICT(ギガタブ)を積極的に活用していけるように、教師の指導力向上を図り、学習活動を工夫して取り組みます。今年度は学校生活に制限がなくなりましたが、行事が中止になったり減少したりした影響が依然として残り、行事から得られる達成感や心身の健康などの非認知能力や生活習慣を養う場の改善、検討が必要です。生徒が、学校活動におけるコミュニケーションや人間関係の形成を図りながら、社会性を身に付けていけるように行事の精選と内容の充実を図ります。

生徒の実態に関する評価では、落ち着いた生活態度や係活動における責任感、相手の立場を理解するなどの項目に生徒指導の充実が成果として表れていると考えられます。一方、大きな声であいさつをする、ボランティア活動に参加する項目は、教師の指導を工夫していく必要があるといえます。今年度はボランティア実行委員会を中心としたボランティア活動を進めてきましたが、来年度に向けて更に見直し、生徒の自主的な工夫や取組が生きるような運営を目指します。また、生徒指導や教育相談においては、学校生活のあらゆる場面で、「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感を生徒が実感できるように指導・支援していきます。生徒が抱える複雑で、多様化した問題や課題の解決のために、学校が組織として対応できるように、全職員で力を合わせて取り組んでまいります。

学校では、学校評価の結果を真摯に受け止め、教育活動の改善に努めてまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
(文責 教頭)